



12-13 March 2022
The 29th Annual Meeting of
Excavations in West Asia



第29回

西アジア発掘調査報告会

—令和3年度 考古学が語る古代オリエント—

2022年3月12日(土)・13日(日)

主催：日本西アジア考古学会

後援：朝日新聞広島総局、国士舘大学イラク古代文化研究所、
(公財)古代オリエント博物館、中国新聞社、(一社)日本考古学協会、
(公財)平山郁夫美術館、(公財)広島観光コンベンションビューロー、
(公財)広島県教育事業団、NPO法人広島文化財センター、
(公財)ひろしま文化振興財団、早稲田大学エジプト学研究所(五十音順)

今年度も毎春恒例の西アジア発掘調査報告会を開催いたします。今年度は、会場イベント(広島県民文化センター)とZoomを使ったオンラインイベント(ライブ配信)を同時に行います。

今回は、1本の特別講演と口頭発表19本をお届けします。1日目は「特別講演」「中央アジア」「クルディスタン、レヴァント」、2日目は「アラビア半島」「エジプト」「アナトリアと南東ヨーロッパ」の調査についての報告です。

- 開催方法：会場でのイベント(広島県民文化センター)とZoomウェビナーによるライブ配信(事後配信はなし)
- 事前申込制(先着順) 会場イベント(定員：250名)、Zoomライブ配信(定員：500名)
- 参加費無料

本事業は、日本学術振興会令和3年度科学研究費助成事業 21HP0002 の助成を受けています。



■申込み方法

・会場でのイベント
お名前・ご住所・連絡先(メールアドレスまたは電話番号)を以下の電話・Fax・メールにて、(公財)広島県教育事業団埋蔵文化財調査室(西アジア報告会担当または伊藤・篠永)までお申し込みください(なおコロナ感染の状況次第では、Zoomライブ配信のみになる可能性があります)。

電話 082-295-5751
Fax 082-291-3951
メール chosa2@harc.or.jp (申込専用です)
・Zoomライブ配信

イベント管理サービス「Peatix(ピーティックス)」内の「日本西アジア考古学会」専用ページでお申し込みください。

<https://jswaa.peatix.com/>



■申込み期間：2月1日(火)正午～3月11日(金)正午

※締切後は受け付けできませんので、ご注意ください。

■報告集について

※例年、配布している予稿集「西アジア発掘調査報告会報告集」は会場イベント参加の方には会場で配布いたします。Zoomライブ配信に参加される方には、PDFにて配布いたします。

※同じ内容の紙媒体の報告集を希望される方は、学会WEBをご覧ください。
(有料。4月下旬頃に印刷・郵送の予定)

※上記申込方法については、日本西アジア考古学会のWEBでも説明します。

会場 広島県民文化センター

広島市中区大手町一丁目5-3



- ◎ 交通手段 ◎
各社路線バス
「紙屋町」または「バスセンター」下車
路面電車
「紙屋町西」または「紙屋町東」下車
- ◎ 所要時間 ◎
広島駅からバスで「紙屋町」まで約10分
路面電車で「紙屋町西」まで約15分



<https://jswaa.org/>

※発表者が複数の場合も1名(団長、会員)のみが記載されています。また、当日発表する方とは一致しない場合もあります。

2022年3月12日(土)

- 10:00 ~ 対面開場・受付
- 10:20 ~ オンライン開場
- 10:40 ~ 10:50 オンライン視聴方法の説明
- 10:50 ~ 11:00 開会の辞

特別講演

- 11:00 ~ 12:00 平山郁夫・シルクロード画家としての出発点
—東京藝術大学トルコ・カッパドキア洞窟遺跡調査の壁画は今—
平山郁夫美術館シルクロード特任研究員 松崎 哲
- 12:00 ~ 13:00 昼食休憩 (60分)

中央アジアの調査

- 13:00 ~ 13:25 報告① 中央アジアの新石器化—ウズベキスタン、
カイナル・カマル遺跡調査 (2015-2019年) —
東京大学総合研究博物館教授 西秋良宏
- 13:25 ~ 13:50 報告② 中央アジア・オアシス地帯における都市の成立と展開
—ウズベキスタン共和国ミングテバ遺跡発掘調査 (2021年度) —
ベルリン・ブランデンブルグ科学アカデミー研究員
ベグマトフ・アリシエル
- 13:50 ~ 14:15 報告③ ソグド王離宮を掘る—ウズベキスタン共和国カフィール
・カラ遺跡 (シャフリスタン地区) 2021年度発掘調査—
北海道大学アイヌ・先住民研究センター博士研究員 村上智見

クルディスタンとレヴァントの調査

- 14:15 ~ 14:40 報告④ ホモ・サピエンスの拡散・定着期における文化動態
—南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡調査 (近年の研究成果) —
名古屋大学博物館講師 門脇誠二
- 14:40 ~ 15:00 休憩 (20分)
- 15:00 ~ 15:25 報告⑤ 肥沃な三日月地帯東部の新石器化
—イラク・クルディスタン、スレマニ地域チャルモ遺跡の調査
(2021) —
筑波大学名誉教授 常木 晃
- 15:25 ~ 15:50 報告⑥ レヴァント回廊の歴史を探る—第7次 (2021年)
・フェニキアの港バトルーン遺跡の発掘調査—
中部大学教授 西山伸一
- 15:50 ~ 16:15 報告⑦ アッシリア帝国東部辺境を掘る
—イラク・クルディスタン、ヤシン・テベ考古学プロジェクト
: 2021年度の成果—
中部大学教授 西山伸一
- 16:15 ~ 16:40 報告⑧ 後期鉄器時代城塞とローマ時代ユダヤ人村落の調査
—イスラエル国テル・レヘシュ第二期調査 (2013 ~ 2017) —
古代オリエント博物館研究員 津本英利
- 16:40 ~ 17:05 報告⑨ ウム・カイスにおけるローマ帝国からビザンツ帝国への
移行 (その3) —国士館大学ヨルダン、ウム・カイス遺跡調査—
国士館大学イラク古代文化研究所共同研究員 松本 健
- 17:05 1日目終了

2022年3月13日(日)

- 9:30 ~ 対面開場・受付
- 9:40 ~ オンライン開場
- 9:50 ~ 10:00 オンライン視聴方法の説明

アラビア半島の調査

- 10:00 ~ 10:25 報告⑩ アラビア半島の遊牧化—サウジアラビア北西部、
ワディ・グバイ遺跡群の第6,7次調査 (2021) —
金沢大学特任教授 藤井純夫
- 10:25 ~ 10:50 報告⑪ 南東アラビア山麓峡谷における人間活動を探る
—オマーン、ムガーラ・アル=キャフ洞穴の発掘調査
(2017-2020年) —
東京大学総合研究博物館特任助教 三木健裕
- 10:50 ~ 11:15 報告⑫ ディルムンを掘る—パハレーン、
ワーディー・アッ=サイル考古学プロジェクト—
東京文化財研究所主任研究員 安倍雅史
- 11:15 ~ 11:40 報告⑬ 中世の港町の構造を探る—サウジアラビア
・紅海沿岸ハウラー遺跡の考古学調査 (2021)—
早稲田大学総合研究機構客員教授 長谷川奏

エジプトの調査

- 11:40 ~ 12:05 報告⑭ 古代エジプト・クフ王第2の船発掘・保存
・組み立て復原プロジェクト—エジプト・ギザ遺跡・2021年—
東日本国際大学エジプト考古学研究所教授 黒河内宏昌
- 12:05 ~ 13:00 昼食休憩 (55分)
- 13:00 ~ 13:25 報告⑮ 前1千年紀の庶民社会と採石場址
—エジプト・アコリス遺跡の調査 2020-2021—
古代学協会客員研究員 辻村純代
- 13:25 ~ 13:50 報告⑯ ヘレニズム村落の構造を探る
—エジプト・イドゥック湖沿岸コム・アル=ディパーウ遺跡の
考古学調査 (2021)—
早稲田大学総合研究機構客員教授 長谷川奏
- 13:50 ~ 14:10 休憩 (20分)

アナトリアと南東ヨーロッパの調査

- 14:10 ~ 14:35 報告⑰ ティグリス川上流域の新石器時代—ハッサンケイフ
・ホック遺跡とウルス・ダム水没地域の調査—
筑波大学人文社会系教授 三宅 裕
- 14:35 ~ 15:00 報告⑱ 中央アナトリアにおける銅石器時代解明へ向けて
—キュルテベ遺跡中央トレンチ2発掘調査 2021—
ノートルダム清心女子大学教授 紺谷亮一
- 15:00 ~ 15:25 報告⑲ 上トラキアの青銅器時代集落を掘る
—ブルガリア、ダドヴォ遺跡の調査—
古代オリエント博物館研究員 千本真生
- 15:25 ~ 15:30 閉会の辞
- 15:30 閉会

お使いの回線・機器の状況によっては、視聴中に通信状況が不安定になつたり、映像等の不具合が起つたりすることもあります。安定したインターネット環境で視聴することをおすすめいたします。
接続アクセスに関するサポートはできません。あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。